

学年：2年	単元名：14. 長いものの長さのたんい —長い 長さを はかって あらわそう
-------	---

1. 単元目標：(全6時間)

○長いものの長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、長さについての量の感覚を身に付け、今後の学習や生活に活用しようとする態度を養う。

考判表・長さの概念を深める。

- ・長さを体感し、見積もることができる。
- ・長さによって、適切な道具、単位の選択を考えることができる。
- ・普遍単位のよさを再考する。

知・技・1mの物差しを用いて長さを測定することができる。

- ・長さを適切な単位を用いて表すことができる。
- ・長さについて単位や測定の意味や単位の関係を理解する。

2. 指導内容

・

3. 指導のポイント

○1mについて

- ・1mのものさしの必要感を持たせる。
- ・1mを体感し、量感をしっかり持たせ、目測ができるようにする。(見積もり)

○1cmに対する1mを体感させる。1m=100cm

- ・1cmのタイルを並べてみる。
- ・15cmや30cmの定規と比較してみる。
- ・長さを測る対象物が違うことにもふれる。
- ・測る対象物によって、測る道具が異なることを理解させる。

「これは、1mより長いから、1mのものさしを使おう。」

「これは、1mよりかなり長いから、巻尺を使おう。」

というように、見積もりを立ててから道具を選ぶような指導をしたい。

○長さを測定するときは、必ず「予想した長さ」を記入させること。

○「m」「mのかき方」「mの読み」等は、しっかりと教える。

○体の部分で、だいたいのがさが測れるようにする。(ひろ・つか・あた)

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開
第1・2時

学習のめあて（作業・知る・考える）
〇両手を広げた長さをはかろう。（P65/66）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握 T 今日から長さの勉強に入ります。 みんな長さは、知っていますね。 C cm・30cm ものさし・動作化で表現 T そうですね。今から、30cm ものさしを使って長さをはかります。 T 今日の問題です。 「両手を広げた長さは、ほぼ自分の身長と同じ長さだといわれています。そのことを確かめよう。」です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 30cm ものさし。 • 4人のグループ • 4人の名前と身長を書いた表のWS① • 1m ものさし
<p>2. 自力解決・学びあい 〇30cm ものさしではかる。うまくいかないことを確認する。 長いものさしの必要感を持たせる。 そこで、 T こんなものさしがあります。（1m ものさしを示す。） 何 cm でしょう。 ※2人に1本程度わたす。 C（メモ리를 읽다.）→100cm T:なぜ 100cm とわかったのですか。100 かぞえたの？ ※メモ리의 읽다를 찾아주세요. Tでは、100cm ものさしを使ってはかりましょう。 ※100cm と 30cm ものさしで、ほぼはかれると予想される。 ※まっすぐはかる方法として（机や床やかべ）を使うことを提示する。 ※WSの拡大を貼っておき、随時記録させていく。 Tよくはかれました。みんなのはかった長さをみましょう。 おかしいのではありませんか。（修正があれば修正） Tほぼ自分の身長と同じだといえますか。→Cいえます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 誤差についての許容範囲について考えさせたい。
<p>3. まとめ・ふりかえり T 確かめられましたね。まちがいないですね。 では、今日使った長いものさしのついてまとめます。 1m=100cm（メモ리의 읽다方） 「m」「mのかき方」「読み方」 T:では、みんなの測った身長をmとcmを使って表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • はかり方は、30cm ものさしで学習済み。 • 메모리의 읽다方をしっかりとらえさせたい。 • WS①

※正確にはかるのが目的ではない。「はかり方を学ぶ」のが目的である。
しかし、いい加減にはかるのはよくないので、「両手を広げた長さが、ほぼ身長になる。」という設定にした。
※メモ리의 읽다方、子どもたちに見つけさせたい。

第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○長さの表し方を知ろう。cm で表したり m と cm で表したりしよう。（P66/67）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握 T:前の時間の復習をします。前の時間につかっただものさしは、何 cm でしたか。→C100cm T:そうでしたね。 100cm のことを1メートルとって、こう書きます。 これを1メートルと読みます。 みんなでもう一度ノートにかいて見ましょう。 T:では、今日は、長さを cm で表したり m と cm で表したりしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 復習：板書 • ノートにかかせる。
<p>2. 自力解決・学びあい T:では、1 m ものさしを一人ずつわたします。 このものさしと、30cm ものさしをセロテープでつなぎましょう。 T:では、今から言う長さを鉛筆で押さえましょう。 ※Tが、cm でいう。m と cm でいう。 T:できるようになりましたね。 では、今度は、黒板で示すところの長さを言いましょう。 ※Cが、cm でいう。m と cm でいう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 黒板にもつくる
<p>3. まとめ・ふりかえり T:長さを cm や m を使って表したり読んだりすることができました。 T:では、教科書でまとめます。 ※P66① P67 の問題をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 一斉 • 個別

第4時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○1mを知ろう。（P68）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握</p> <p>T:今日は、1mものさしを一人ずつわたします。 自分の身長と比べたり、両手を広げた長さや比べたり、指で何回分と測ったりして「1m」がどれくらいか覚えましょう。</p> <p>C（作業）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1mの体感
<p>2. 自力解決・学びあい</p> <p>Tいろいろやりましたね。では聞きます。 自分の身長どのくらいですか。 両手を広げて1mをつくりましょう。</p> <p>Tそれでは、次は、1mものさしを使わないで、およそ1mの長さのものをみつけましょう。そして、1mものさしを使って確かめましょう。2人組で交替でしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1mの体感。 ・長さの見当付けや見積もりができるようにする。 ・WS ②
<p>3. まとめ・ふりかえり</p> <p>※1mを自分の身体で示す。 ※そして、体の部分で、だいたいの長さが測れるようにする。 （ひろ・つか・あた）P64 ※P68⑥</p>	

第5時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○テープものさしをつかって、いろいろな長さをはかってみよう。（P69）
OP69参照 3mぐらいのテープ
OWS③に記入。

第6時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○たしかめよう 算数の目 （P70/71）